

## 多聞院・毘沙門堂

多聞院は、真言宗豊山派の寺で、本尊は大日如来である。

川越城主柳沢吉保は、元禄7年（1694）武蔵野の開拓を計画し、家老職の曾根権太夫にその実施を命じた。権太夫は、地蔵林（上富の富の地蔵付近）を中心に地割開拓に着手し、元禄9年この画期的な大事業も無事完了、上富（現三芳町）、中富、下富（現所沢市）の三村が生まれた。このとき、村民のために祈願所として多聞院を創建したのが始まりであり、開山は江戸四ッ谷真言宗愛染院第四世榮任和尚である。

また、境内にある毘沙門堂は、元禄9年の創建だが、現在の堂は明和3年（1766）に再建されたもので、本尊は高さ約4センチメートルの金の毘沙門天で、武田信玄の守り本尊であったといわれている。

言い伝えによると、信玄はこの毘沙門天を兜の中に納めて戦場に出た。その御加護によって、川中島の合戦の時には上杉謙信の刀から危うくのがれるなど、大変御利益があったといわれる。

その後、信玄は没し、天正10年（1582）天目山の戦で武田勝頼が自害して武田氏は亡び、毘沙門天は人の手に渡ったが、やがて吉保の手に移ったので、武運長久を祈るため、この毘沙門堂を建立し、安置したといわれる。

### 所沢 多聞院(たもんいん)

Tamonin Temple

埼玉県所沢市大字中富1501

1501 Nakatomi Takorozawa-Shi Saitama

## さやまジャーナリスト発見シリーズ 所沢多聞院の草花

発行日：平成28年10月1日  
発行：さやま市民大学まちづくりコース  
地域ジャーナル講座1期生

指導講師：澤野 久美子  
事務局：さやま市民大学  
〒350-1304

埼玉県狭山市狭山台1-21 狭山元気プラザ内  
電話 04 (2968) 6885  
FAX 04 (2959) 2785

さやまジャーナリスト発見シリーズ

# 所沢多聞院 の草花



鬼の悟りの像

制作・深澤慶子



イカリソウ  
(碓草)



多間院の庭に咲く花々

ニホンクマガイソウ



ラン科アツモリソウ属に属する植物である。低山の森林内、特に竹林、杉林などに生育し、大きな集団を作る

膨らんだ形の唇弁を昔の武士が背中に背負った母衣(ほろ)に見立て、がっしりした方を熊谷直実(くまがいなおさね)熊谷草

ナルコユリ



鈴蘭



エビネ



エンレイソウ



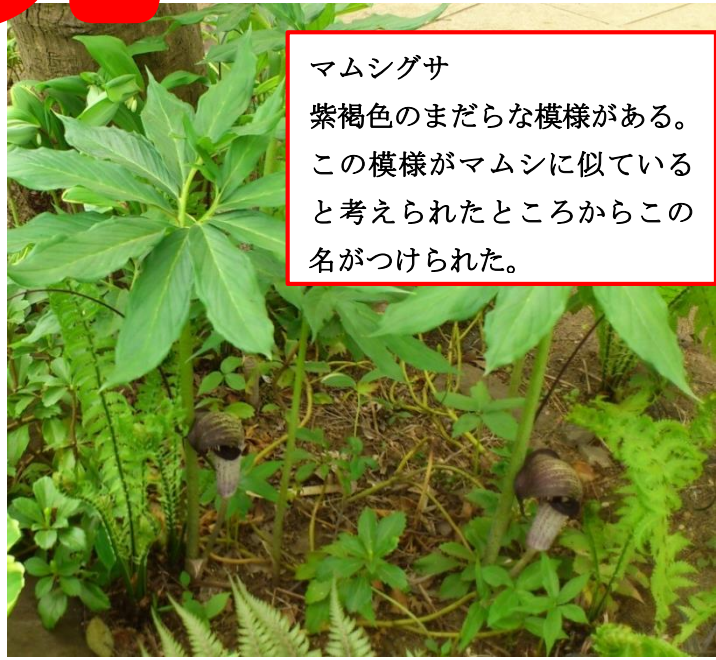
クマガイソウ  
(熊谷草)

熊谷草

# 発見



ユキモチソウ  
(雪餅草)  
真ん中の白くふくれた部分が雪のように白く、お餅がふくらんだみたいなので、この名になった。



マムシグサ  
紫褐色のまだらな模様がある。この模様がマムシに似ていると考えられたところからこの名がつけられた。